

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | | | 科 目 区 分 | 基 础 分 野 | 授 業 の 方 法 | 講 義 演 習 |
|-------|--------------------|-----------------|---|---------|-----------|---------------|
| 科 目 名 | 滋慶選択科目 II<アロマテラピー> | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対象学年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 後期 木曜3限 | 教室名 | 401教室 |
| 担当教員 | 佐藤 曜子 | 実務経験と その関連資格 | 平成19年 日本体育協会公認アスレティックトレーナー取得 平成25年 アロマテラピーインストラクター資格取得 立命館中学校・高等学校勤務 大原学園勤務 MFA勤務 現在に至る | | | |

《授業科目における学習内容》

滋慶選択科目講座は、滋慶学園グループ各校が提供する教育システムの一つである。姉妹校が開講する様々な科目を選択・履修することで、学びの機会を広げ、知識・技術の習得、豊かな人間性の醸成、社会人になった再に活用することができる。本講座は、講義とクラフトなどの演習でアロマテラピーを楽しみ、日常生活の中に取り入れられることができようになることを目的としている。

《成績評価の方法と基準》

単元ごとのレポート提出による理解度の評価
実習に対する取り組み姿勢(聴講態度、協調性等)
1 筆記試験70% 2 出席評価20% 3 平常点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じてプリント、教材の配布を行う

《授業外における学習方法》

配布したプリントを使用しての予習・復習

《履修に当たっての留意点》

本授業は、滋慶選択科目における1つの講座である。アロマテラピーの面白さや奥深さを知り、日常生活に取り入れていただきたい。

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---------------|-------------|------------------------------|--------------|-------------------|
| 第1回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーの楽しみ方について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | イントロダクション | | |
| 第2回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 精油について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 精油とは | | |
| 第3回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 精油が身体へ働きかける経路について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 精油が身体へ働きかける経路について | | |
| 第4回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 香りと脳の働きについて理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 香りと脳の働きについて | | |
| 第5回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーの活用方法について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | アロマテラピーの活用方法① | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|---|--------------|-------------------|
| 第6回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーの活用方法について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | アロマテラピーの活用方法② | | |
| 第7回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーの活用方法について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | アロマテラピーの活用方法③ | | |
| 第8回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーの活用方法について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | アロマテラピーの活用方法④ | | |
| 第9回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーの活用方法について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | アロマテラピーの活用方法⑤ | | |
| 第10回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーの歴史について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | アロマテラピーの歴史について | | |
| 第11回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーに関する法律について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | アロマテラピーに関する法律について | | |
| 第12回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーに関する法律について理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | アロマテラピーに関する法律について | | |
| 第13回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーを用いた石鹼の作り方を理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 石鹼つくり① | | |
| 第14回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | アロマテラピーを用いた石鹼の作り方を理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | 石鹼つくり② | | |
| 第15回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 本講義を通してアロマテラピーと日常生活との関わりについて理解することができる。 | 必要に応じてプリント配布 | プリントでの復習 |
| | 各コマにおける授業予定 | まとめ | | |